

新総合計画基本計画

辻堂地区 地域まちづくり計画

都市ビジョン.1 市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性 1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

〈② 強みや魅力の維持・向上を〉

ふじさわ未来課題

7.お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

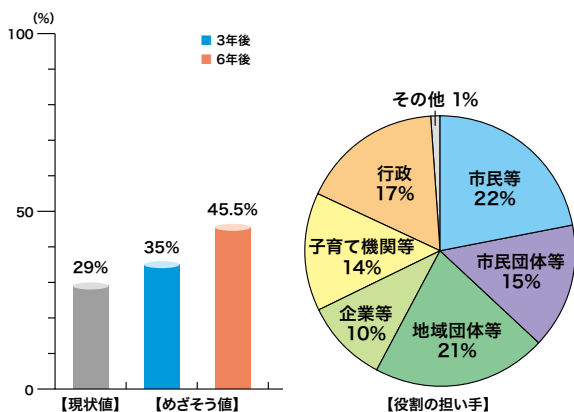
地域まちづくり目標 01.みんなが思いやりを持ち、お互いに尊重しあい安全・安心に暮らせるまち

目標の背景・方向性

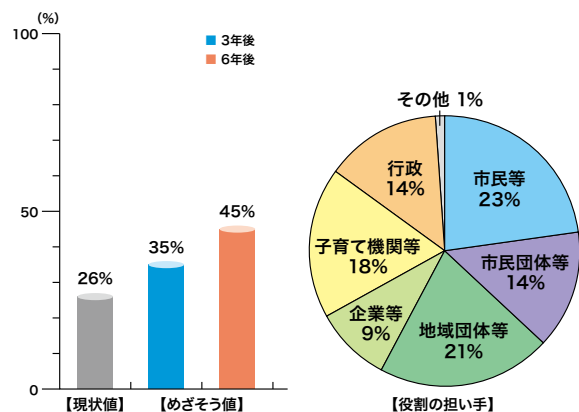
区内は平地地が多いため、自転車は日常生活の移動手段としての利用頻度が高く、子どもを乗せた自転車、サーフボードをつけた自転車も見られ、区内内の移動に自転車は欠かせません。また、戸建住宅地の多い地区であり、長久保公園や辻堂海浜公園など公園も多いことから、ペットの散歩をする姿が多く見受けられます。気づき調査においては、多くの方が自転車・ペット・ゴミなどについての生活マナーの問題点を挙げています。地域住民と来訪者(観光客)とが、生活マナーを守ることによって相互に尊重しあうまちづくりをめざします。

成果指標

生活マナーがよくなったと感じる人の割合



思いやりや助けあいがあると感じる人の割合



地域まちづくり活動

活動 1 生活マナー啓発活動の推進

【成果の視点】生活マナーが向上し、暮らしやすさを感じられること

活動 2 小さな思いやりなどの親切活動の推進

【成果の視点】みんなが親切な心を感じられること

藤沢づくりのめざす方向性 2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

〈2 強みや魅力の維持・向上を〉

ふじさわ未来課題

13.地域が子どもを見守り育てる環境であること

地域まちづくり目標 02.子どもが生き活きと育つまち

目標の背景・方向性

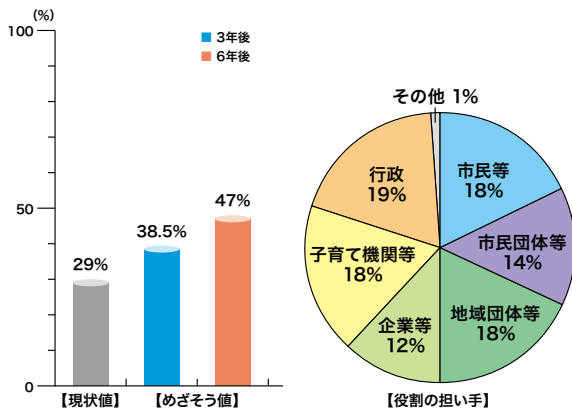
子どもたちは、外で元気に遊ぶことでさまざまなことを身につけ、成長していきます。

学校や公園などで遊ぶ時には、時間が限られていたり、禁止されている遊びがあったりというように制約があります。ただ、外で遊ぶ際には、交通安全やけが、犯罪に巻き込まれるおそれなどがあり、気づき調査などでは、子どもが安心して遊べる場所を求める意見が多くあるように、子どもたちが地域の中で、元気で安全・安心に遊べることが望まれています。

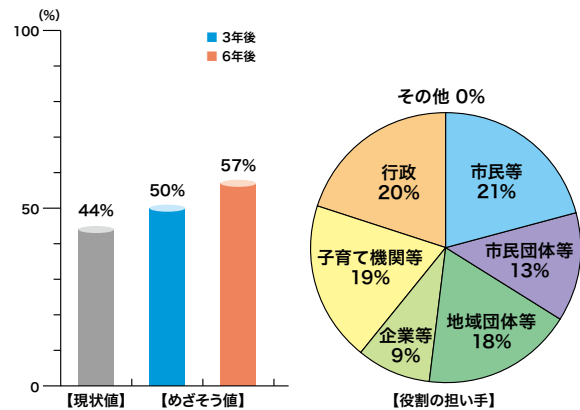
地域ぐるみで子どもを見守り、安心して外で遊べる環境づくりをめざします。

成果指標

子どもが地域に見守られていると感じる人の割合



地域の子どもが生き活きと育っていると感じる人の割合



地域まちづくり活動

活動 3 子ども見守り活動の推進

【成果の視点】地域の子どもたちが安心して遊んでいられること

活動 4 青少年育成活動の推進

【成果の視点】青少年がのびのびと育っていること

藤沢づくりのめざす方向性 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

〈① 協働型の課題解決で価値向上へ〉

ふじさわ未来課題

23.福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること

地域まちづくり目標 03.人・まちのバリアフリーと福祉が充実しているまち

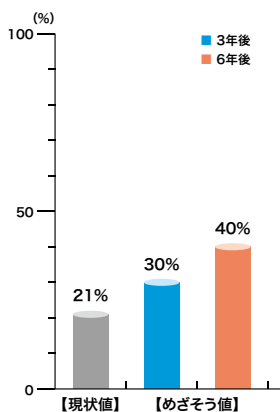
目標の背景・方向性

地区内には特別養護老人ホームなど介護サービスの拠点となる施設がなく、各種の福祉施設や医療施設の充実や高齢者のサポート体制（食事の宅配等）の充実等が望まれています。

公共施設等において段差などの危険を取り除き、課題67の道路の改善と合わせ、安心して出かけられるよう、まちのバリアフリー化を進めます。さらに、ハード面のバリアフリーのみならず、子どもから高齢者まで全ての人にやさしい心のバリアフリーを実現する取り組みをめざします。

成果指標

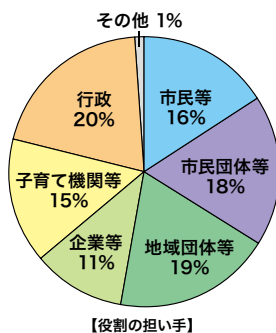
福祉が充実し、子どもからお年寄りまで守られていると感じる人の割合



地域まちづくり活動

活動 5 バリアフリー改善活動の推進

【成果の視点】地域の中をストレスを感じなく移動できること



〈② 強みや魅力の維持・向上を〉

ふじさわ未来課題

17.保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと

地域まちづくり目標 04.保健、医療、福祉が連携しあい、健康が維持されるまち

目標の背景・方向性

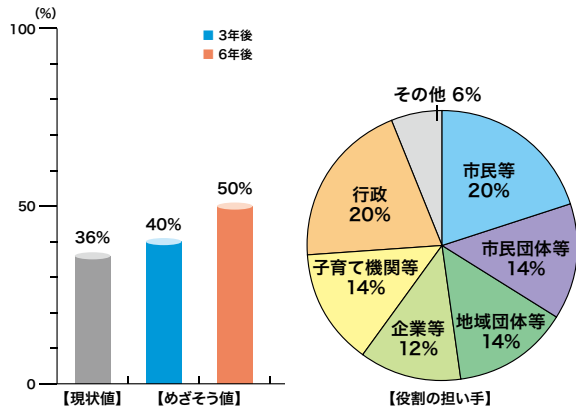
住み慣れた地域で健康に生き生きと暮らしていくことは多くの人が日常的に望んでいることです。その実現のためには、保健、医療、福祉などの生活環境が整い、健康を維持し、地域での生活を続けていくための取り組みが必要です。

気づき調査の結果を見ると、スポーツや健康維持の取り組みが望まれています。

地域ぐるみで健康維持に取り組み、地域で健康な生活を続けていくための支援に取り組みます。

成果指標

健康づくりを支える環境が充実していると感じる人の割合



地域まちづくり活動

活動 6 身体を動かす習慣を普及させる活動の推進

【成果の視点】みんなが身体を動かす習慣を実践していること



都市ビジョン.2 地域から地球に広がる環境行動都市

藤沢づくりのめざす方向性 4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

〈① 協働型の課題解決で価値向上へ〉

ふじさわ未来課題

26.子育て世代を支える環境が充実していること

地域まちづくり目標 05.安心して子育てできるまち

目標の背景・方向性

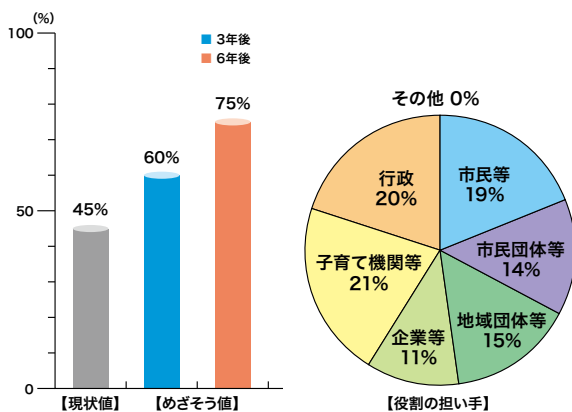
辻堂地区は藤沢市全体と比較して14歳以下の比率が高く、今後も宅地分譲等によって子育て世帯の増加が続くと予想され、子育てを支える環境の必要性がより高いと言えます。

気づき調査の結果を見ると、保育施設や子どもの遊び場を望む声の他に、パトロールや子どもを大事にするまちづくりなど、地域に支えられて子どもが育っていくことを望んでいることがうかがえます。

子育てを保護者だけが担うのではなく、地域で支えられて子育てができる環境づくりをめざします。

成果指標

子育てがしやすいと感じる人の割合



地域まちづくり活動

活動 7 子育て支援活動の推進

【成果の視点】地域に支えられて子育てができる環境があること

藤沢づくりのめざす方向性 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

〈① 協働型の課題解決で価値向上へ〉

ふじさわ未来課題

45.地域の未来の担い手が育成されていること

地域まちづくり目標 06.地域ブランド情報を発信するまち

目標の背景・方向性

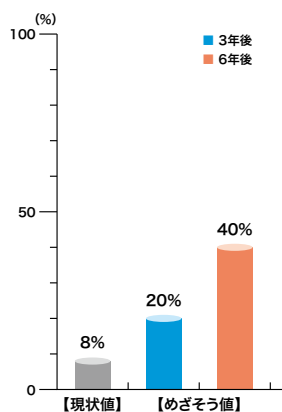
気づき調査では地産地消・地域ブランドの確立を求める意見が挙げられていました。地域離れの改善策として、地域に対する興味を持ってもらうきっかけとして、これらは非常に効果があるものです。地域の誇りとなる地域ブランドは、地域への愛着を生み、地域の活動を活発にすることにつながるものです。

また、辻堂地区は湘南海岸や辻堂海浜公園でのイベントなど、外に向かってアピールできるものがありますが、地域ブランドも同じようにアピールできるものとなる可能性を持つものです。

地域ブランドの発信による地域への愛着の醸成と外部へのアピールをめざします。

成果指標

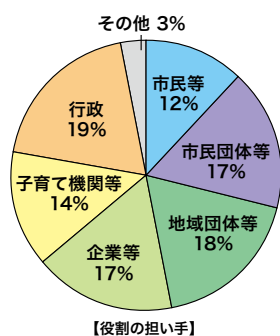
地域の良いところが、広く発信されていると感じる人の割合



地域まちづくり活動

活動 8 地域ブランドの情報発信活動の推進

【成果の視点】地域ブランドの発信による地域への愛着の醸成されていること



〈② 強みや魅力の維持・向上を〉

ふじさわ未来課題

35.まちと自然環境の調和がとれていること

地域まちづくり目標 07.みどりあふれる自然環境を保全するまち

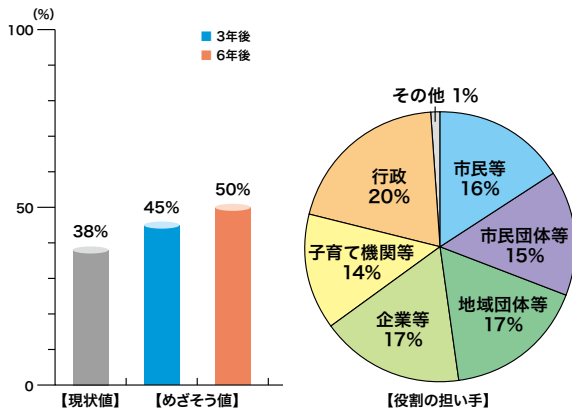
目標の背景・方向性

地区内には、引地川緑地や長久保公園等のまとまったみどりのほか、みどりの広場、保存樹林や一般の屋敷林など、市の木であるクロマツ(黒松)をはじめとした住宅地の中に点在するみどりも各所に残されています。また、きれいな海や川沿いの緑道も広がり、まちもこれらの自然環境と調和したものとなっています。

これらの自然環境は、日常生活に潤いをもたらすものです。このような貴重な自然環境を維持し、後世に残していくため、これからも、みどりあふれる自然環境の保全に努めます。

成果指標

地域のまちなみと自然環境の調和が取れていると感じる人の割合



地域まちづくり活動

活動 9 みどりの保全に関する活動の推進

【成果の視点】みどりあふれる自然環境が保全されていること

藤沢づくりのめざす方向性 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげていくことをめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

〈① 協働型の課題解決で価値向上へ〉

ふじさわ未来課題

49.人々の環境への意識が高く、快適なまちであること

地域まちづくり目標 08.美しい自然とまちなみを守り、育てるまち

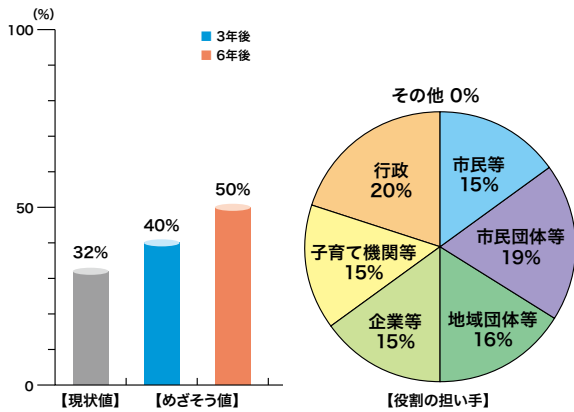
目標の背景・方向性

辻堂地区は、海、川があり、みどりが多く残る良好な魅力あふれる地域です。気づき調査でも、海岸をきれいにする、街路や植え込みの雑草やポイ捨てマナーについての指摘があり、自然環境と調和した良好な住環境を望む意識が高いことが窺えます。きれいで快適なまちであるためには、行政による公共施設の維持管理だけでなく、市民による自主的な環境美化活動の推進が必要です。

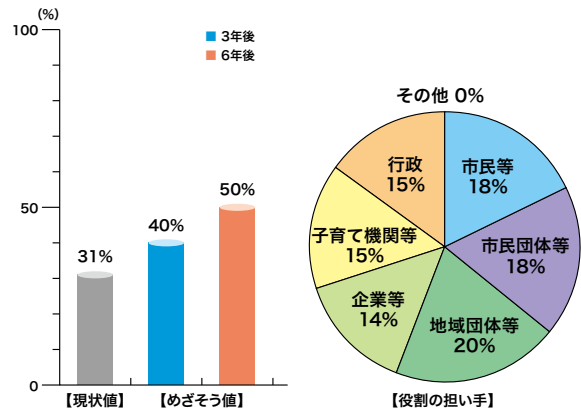
現在の良好な住環境が引き続き維持されるよう、行政、住民が一丸となった取り組みを進めます。

成果指標

地域で、自然が守られていると感じる人の割合



地域住民の環境への意識が高いと感じる人の割合



地域まちづくり活動

活動 10 環境美化のための運動の推進

【成果の視点】いつまでも美しい環境が残されていること

活動 11 風致地区の住環境を守る活動の推進

【成果の視点】風致地区の住環境や景観が維持されていること

地域まちづくり目標 09.エコ活動に積極的に取り組むまち

目標の背景・方向性

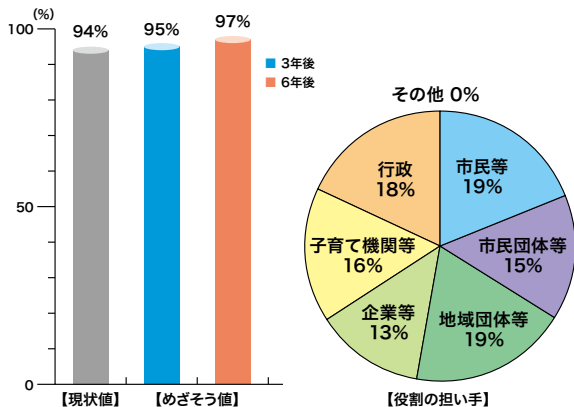
地球温暖化が進む中で、世界的にCO₂の排出量の削減が求められています。世界規模、国家規模での大きな取り組みも重要ですが、地域やそこで生活する一人ひとりから環境に配慮した取り組みを積み重ねていくことも同じように重要なことです。

エコ活動として、一人ひとりの生活の中でできること、施設や設備などについて簡単にできることなど、身近なところからエコ活動に取り組んでいきます。

また、地区内では、工場跡地をエコタウンとしたまちづくりを進めていく構想もあり、地域が一体となってエコ活動を進めます。

成果指標

ごみの分別や節電など、環境を意識した行動を心掛けている人の割合



地域まちづくり活動

活動 12 エコ活動の推進

【成果の視点】身近なところからエコ活動に取り組んでいること

都市ビジョン.3 さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性 7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

〈① 協働型の課題解決で価値向上へ〉

ふじさわ未来課題

64.商店街と大型店舗が共存共栄し、活気あるまちになること

地域まちづくり目標 10.暮らしやすさを支える商店のあるまち

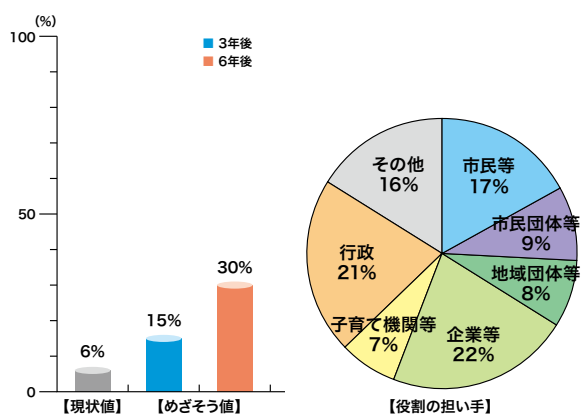
目標の背景・方向性

辻堂駅北口の湘南C-Xでは大型商業施設の出店が進められています。一方で辻堂地区内には、駅前や辻堂東海岸などに住民の生活に密着した身近な商店街があります。大型商業施設との共存共栄を図るためには、今ある地元の商店街により多くの人々が集まり、より魅力的なものになるよう、さらに、日常生活を支えるものになるようにしていく必要があります。

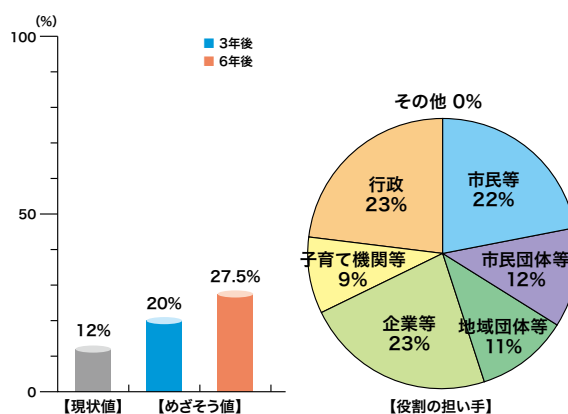
商店街を利用するきっかけを増やし、日々の暮らしが商店街に支えられるような地域づくりをめざします。

成果指標

地域の商店街と大型店舗が共存共栄していると感じる人の割合



商店街を利用したいと思う人の割合



地域まちづくり活動

活動 13 商店街活性化イベントの充実

【成果の視点】活気ある商店街があること

活動 14 商店街の情報発信活動の推進

【成果の視点】商店街のさまざまな情報が容易に入手できること

藤沢づくりのめざす方向性 8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

〈① 協働型の課題解決で価値向上へ〉

ふじさわ未来課題

71. 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること

地域まちづくり目標 11. 公共施設とサービスが充実しているまち

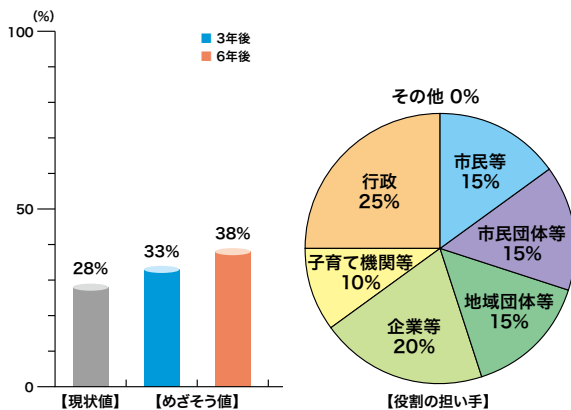
目標の背景・方向性

地域活動を進めるためには、活動の拠点が重要です。しかし、地区の現状は、公共施設の老朽化や地域で提供する市民サービスの増加によるスペースの狭隘化、バリアフリーも充分でない施設もあり、駐車スペースも充分ではありません。市民サービスの満足度を高めるためには、地域拠点施設の充実が必要不可欠ですが、「公共施設マネジメント白書」によると公共施設の建て替えには膨大な資金が必要となり、極めて困難な状況です。

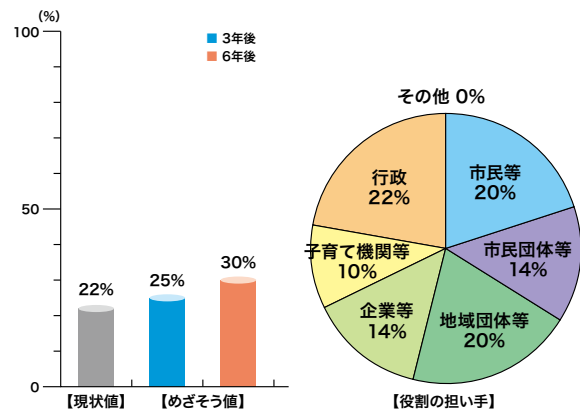
市民サービスの満足度を高めることをめざし、建て替えに限らない様々な手法や他の複数の施設の再編等、公共施設の機能を充実させるための検討を進めます。

成果指標

公共の施設やサービスが充実していると感じる人の割合



様々な人が地域づくりに関わっていると感じる人の割合



地域まちづくり活動

活動 15 地域拠点施設建替に伴う再編プランの提言

【成果の視点】地域住民の意見が十分にプラン策定に活かされていること

〈② 強みや魅力の維持・向上を〉

ふじさわ未来課題

67. 移動や利用にあたり、誰でも利用できる道路や施設であること

地域まちづくり目標 12.人・自転車に優しい道路のあるまち

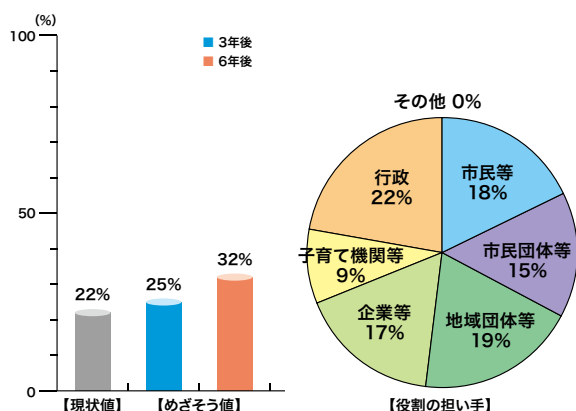
目標の背景・方向性

地区内の大半が平坦地であることから、自転車の利用頻度が高く、特に、辻堂駅前には民間も含めて駐輪場が多いことから、通勤通学にも自転車が多く利用されています。地区内の道路は段差や凹凸などのある場所も多く、また、歩道が十分に整備されていない幹線道路もあります。バリアフリーの観点も大切にしながら、歩行者・自転車だけではなくすべての人が安心して通行できる道路の実現をめざします。

さらに、本地区は古い歴史やみどり豊かな環境を有しており、それらの情報発信を進めます。

成果指標

道路が誰にでも利用しやすい道路であると感じる人の割合



地域まちづくり活動

活動 16 道路の問題箇所解消の推進

【成果の視点】道路が原因となる問題が適切に改善されていること

活動 17 辻堂の歴史文化についての情報発信の推進

【成果の視点】歴史や文化などについての情報が容易に得られること

藤沢づくりのめざす方向性 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化、ブランド力などの地域の特性を活かした、魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし、その魅力と価値を発信します。そして、市民一人ひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て、文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげていくことをめざします。

〈① 協働型の課題解決で価値向上へ〉

ふじさわ未来課題

79.市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること

地域まちづくり目標 13.伝統文化を保存・継承するまち

目標の背景・方向性

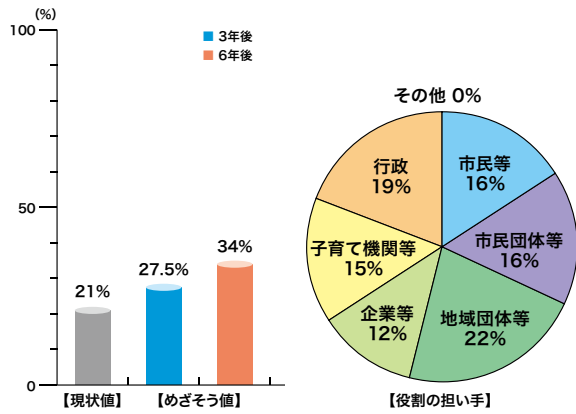
辻堂地区は歴史あるまちであり、地域のお祭りが数多く開催され、また、お囃子、だんご焼きなど古くから継承されてきた伝統文化もあります。それらは、地域住民によって大切にされ、地域がまとまるきっかけともなってきました。

また、地域には、市民自らが歴史的な民具などを保存展示している資料館もあります。

有形無形のそれらの伝統文化を保存し、さらに充実させ、次世代へと継承していきます。

成果指標

地域の文化が継承されていると感じる人の割合



地域まちづくり活動

活動 18 伝統文化の情報発信と伝承活動の推進

【成果の視点】伝統文化が確実に次世代へと引き継げていること



新総合計画基本計画

村岡地区 地域まちづくり計画

都市ビジョン.1 市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性 1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

〈② 強みや魅力の維持・向上を〉

ふじさわ未来課題

7.お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

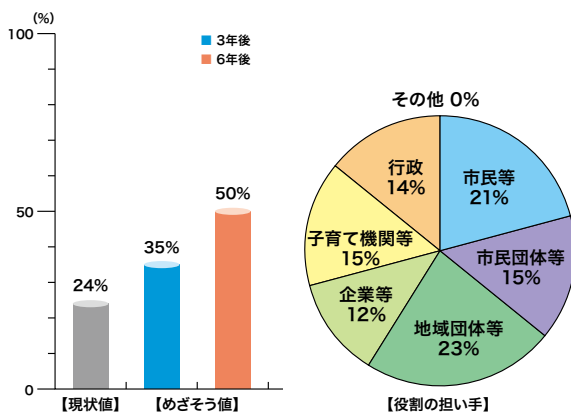
地域まちづくり目標 01.明るく、清潔で、思いやりのあるまち

目標の背景・方向性

人が生活していく上ではいくつものルールやマナー、エチケットが存在します。安全・安心、快適な住みよいまちを創造するためには、村岡にかかわる地域住民や企業などが共に住みよい地域社会を作っていくという自覚を持つことが大切です。そのことによって自分の住むまちに誇りと郷土愛が生まれてきます。助け合いの心と協力意識を持ち、マナーやモラルの低下による迷惑行為を許さないという認識のもと、住民一人ひとりが迷惑行為について自覚し、責任ある行動をとることにより、迷惑行為のない快適で良好な生活環境の実現をめざします。

成果指標

地域でマナーが守られていると感じている割合



地域まちづくり活動

活動 1 マナー向上のための活動の推進

【成果の視点】マナー向上のための周知活動が行われていること

活動 2 地域活動への参加、協力意識の向上

【成果の視点】自治会・町内会への加入世帯率が高い地域であること

藤沢づくりのめざす方向性 2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

〈② 強みや魅力の維持・向上を〉

ふじさわ未来課題

14.学校・家庭・地域のつながりを育む活動が活発であること

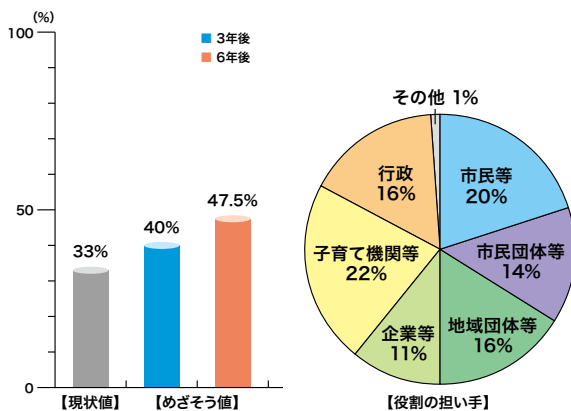
地域まちづくり目標 02.地域力で、子どもを見守り・育むまち

目標の背景・方向性

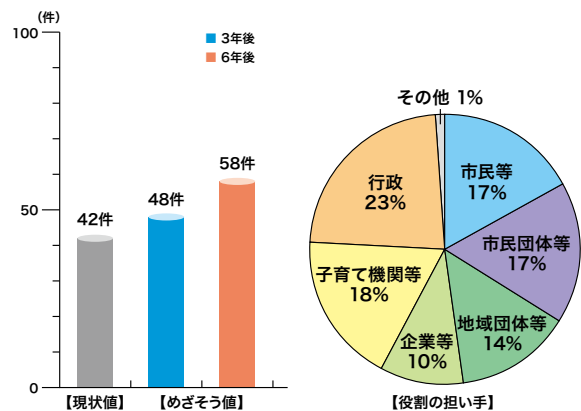
少子化が進む中で、地域では学校、家庭、ボランティア、地域団体、企業、行政が連携し活動することが必要です。「むらおか・子ども相互支援会議」(三者連携)は2中学校、5小学校の学校関係者と保護者、地域団体などが中心となり、独自の事業や公民館との共催事業などを展開し活発に活動しています。また地区内各小学校校門の前では、登校する児童に声かけをする「おはようボランティア」活動が活発です。村岡中学校においても声かけの取り組みが始まっています。今後も学校・家庭・地域が一体となり、次世代を担う子どもが健やかに成長できるよう安全で安心できる環境づくりを進めます。

成果指標

地域の子どもたちがのびのびと育っていると思う住民の割合



子どもたちの健全育成のために取り組む事業数



地域まちづくり活動

活動 3 子どもたちの健全育成のための環境整備

【成果の視点】青少年の健全な育成を支援する環境があること

藤沢づくりのめざす方向性 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療(介護)・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

〈① 協働型の課題解決で価値向上へ〉

ふじさわ未来課題

23.福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること

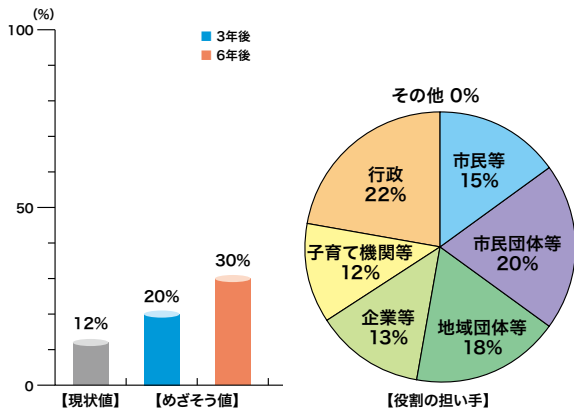
地域まちづくり目標 03.福祉が地域で支えられ、安心して暮らせるまち

目標の背景・方向性

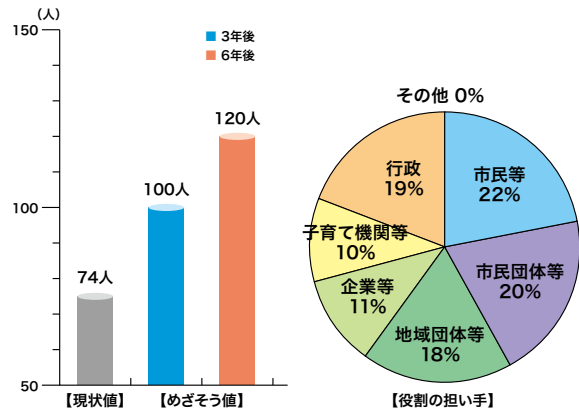
村岡の65才以上人口割合は2010年で19.1%、13地区で9番目ですが、2030年には28.5%、で高齢化率は7番目に進むことが予想されています。また、地区内の福祉団体や福祉施設が中心となり2004年に福祉関係者ネットワーク連絡会が組織され、相互の連携と福祉サービスの向上を目的に活動しています。この連絡会によって検討されてきた「ボランティアセンターぬくもり」が2010年5月に開所しました。こうした福祉の土壌を生かし、子どもから高齢者、障がいのある方まで地域の誰もが心豊かに安心して生活できるまちづくりを目指します。また保健医療・健康・スポーツなどの充実を図り、地域の「元気づくり」を推進します。

成果指標

福祉が充実していると感じている住民の割合



福祉ボランティアセンターぬくもりの登録者数



地域まちづくり活動

活動 4 子どもから高齢者まで世代を超えた福祉環境の充実

【成果の視点】すべての人が心豊かで安心な生活ができるまちであること

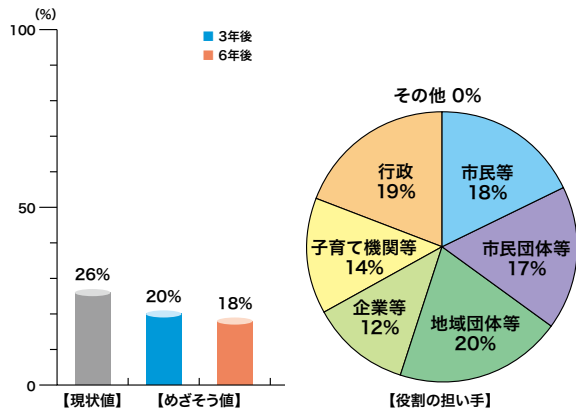
地域まちづくり目標 04.安全が地域で支えられ、安心して暮らせるまち

目標の背景・方向性

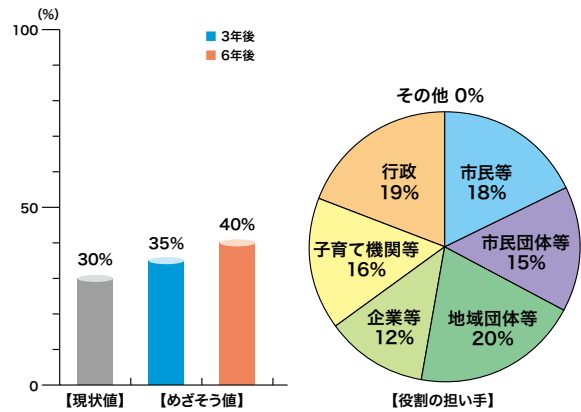
地区くらし・まちづくり会議が取り組んだ「かけこみ110番」運動や、各種地域団体やボランティアによる防犯パトロールなどの防犯対策の効果により、村岡地区は刑法犯、窃盗犯とも市内で最も犯罪件数が少ない地域となりました。また、2009年には市内2か所目となる民間交番、「村岡地区安全・安心ステーション」が地域の安全を見守る拠点として誕生しています。“地域の安全は地域住民が守る”を合い言葉に、こうした地域の強みをさらに伸ばすべく、行政、地域住民が一体となった「地域力」「行政力」を発揮し、地域に生活するすべての人が安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。

成果指標

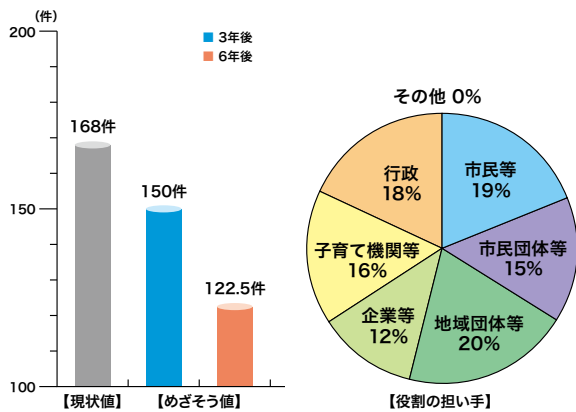
過去一年間に、地域で犯罪の危険を感じた住民の割合



地域の防犯に対する取り組みが充実していると感じている住民の割合



地区内の犯罪発生件数



地域まちづくり活動

活動 5 防犯対策の強化・充実

【成果の視点】防犯意識の高まりによって、犯罪から守られる地域になること

〈② 強みや魅力の維持・向上を〉

ふじさわ未来課題

18.災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること

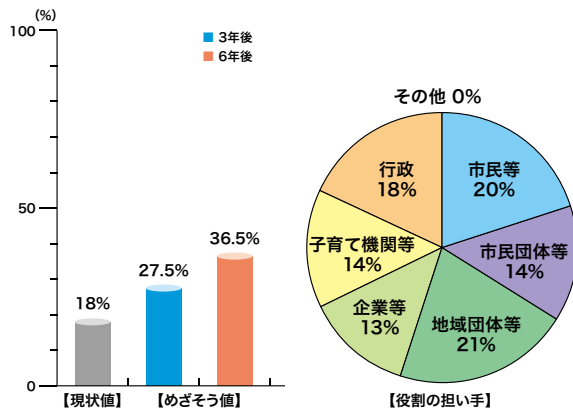
地域まちづくり目標 05.地域住民のつながりと備えて災害に強いまち

目標の背景・方向性

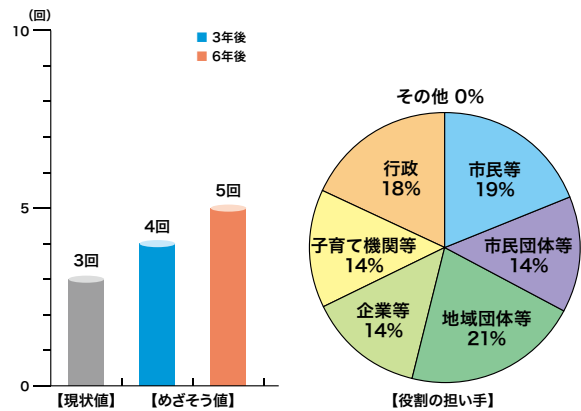
阪神淡路大震災の経験によれば、地域住民の自助、共助の必要性が明らかになっています。村岡地区の防災訓練は近隣自治会・町内会の連携によって5か所の避難施設が同時に実施するという市内で唯一の形態です。また、各自治会・町内会でも要援護者対策や自主防災訓練への取り組みが始まっています。災害リスクは同じ地区内でも地理的条件や街並み、社会構造などによって起こりうる被害の実態が異なり、必要とされる対応も違ってきます。いつやってくるか分からない災害に備え、行政主導の防災対策にとどまらず、地域住民や民間事業者の自助・共助による「地域力」を発揮し、自然災害に対し地域で備えることにより、地域防災力を高めみんなで減災に取り組めます。

成果指標

住民が自主防災に備える必要性を感じている住民の割合



自主防災組織の活動数



地域まちづくり活動

活動 6 安心できる防災体制の強化

【成果の視点】地域の活動によって、地域防災力の強化・充実がなされること



都市ビジョン.2 地域から地球に広がる環境行動都市

藤沢づくりのめざす方向性 4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

〈① 協働型の課題解決で価値向上へ〉

ふじさわ未来課題

26.子育て世代を支える環境が充実していること

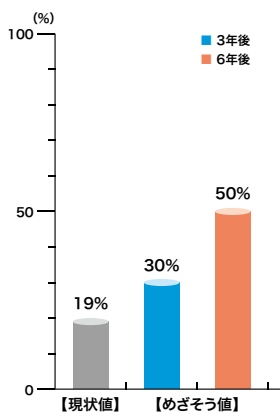
地域まちづくり目標 06.みんなでつくろう「子育て環境の充実したまち」

目標の背景・方向性

核家族化が進み、また地域のつながりの希薄化が言われている今日、「地域再生」のため地域での子育て環境の充実が必要となってきています。村岡公民館では地域のサークルやボランティア、NPOと協働し、地域で子育てを応援する「村岡発！子育て応援メッセ」を実施し、親子で400人も参加を得ています。子育て中の親子が気軽につどえる「活動空間」、相互交流や子育ての不安や悩みを相談できる「場」づくりなど、「地域力」を発揮し、地域全体で子育て家庭を支援する環境づくりを推進します。

成果指標

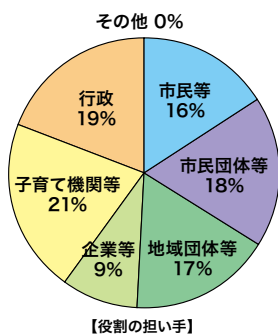
子育てに対して優しいまちと感じている住民の割合



地域まちづくり活動

活動 7 子育て世代に優しい環境の充実

【成果の視点】子育て家庭が安心して生活できる環境が充実していること



ふじさわ未来課題

31.社会的弱者の方が快適に過ごせるまちであること

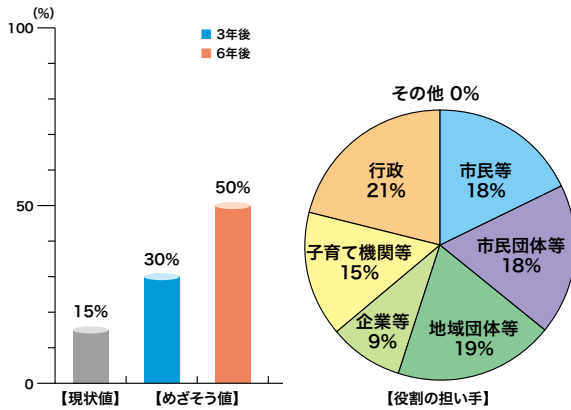
地域まちづくり目標 07.みんなで見守り、助けあうまち

目標の背景・方向性

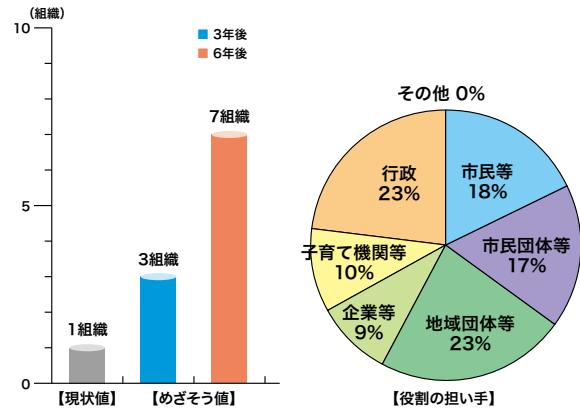
子ども、障がいのある人、外国人、高齢者、小さな子どもをかかえた母親(父親)などに配慮した地域づくりが必要です。必要とする知識や情報が得られ気軽に集える場の提供や、教育・就労などの支援機会の提供を通して自立できる環境づくりを地域で取り組むとともに、公共施設や歩道などのバリアフリー化を進め社会的弱者を地域全体で支えるしくみづくりを進めます。

成果指標

社会的弱者の方に配慮した地域であると感じる人の割合



要援護者への対応に取り組む自治会・町内会の数



地域まちづくり活動

活動 8 みんなで支えあい、見守り活動の推進

【成果の視点】要援護者への対応が地域で取り組まれていること

藤沢づくりのめざす方向性 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

〈① 協働型の課題解決で価値向上へ〉

ふじさわ未来課題

45.地域の未来の担い手が育成されていること

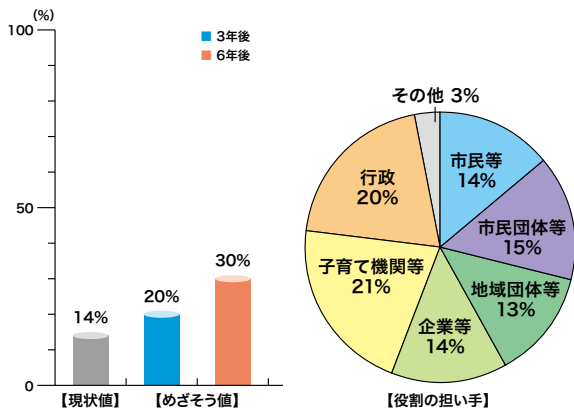
地域まちづくり目標 08.地域で支える人材が育つまち

目標の背景・方向性

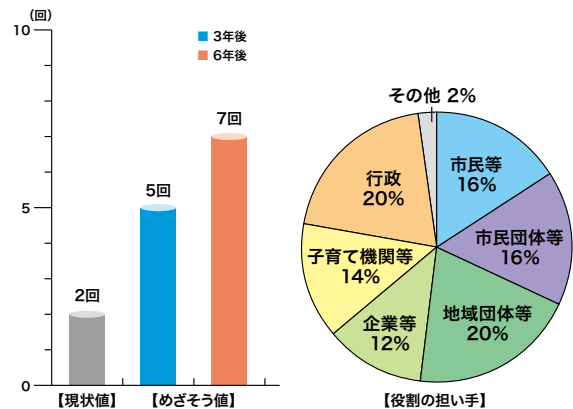
地域のコミュニティを持続していくためには地域を担う人材が大切にされていなければなりません。「まちづくりはひとづくり」と言われるようにまちづくりを支える根幹は「ひと」です。地域には昔から伝承され、継承しなければならない伝統芸能や、工芸技術、職業技術などがあります。村岡においても「祭り囃子」など伝統文化が継承されています。次代を担う青少年をそれぞれの分野で育成していくためには、地域のあたたかい人間関係の中で支援体制を構築し、地域社会への関心と郷土愛を高め、やがて地域づくりの核となる人材育成に繋げていくことが大切です。また、団塊世代のリタイヤが始まり地域社会に帰ってきます。知識、経験、ネットワークを持った世代は地域づくりの大きな力となるはずで、「若い力」と「鍛え上げた力」が世代を超えて地域づくりのプロデューサーとして活躍できる場づくりも大切です。

成果指標

次代を担う若者が育成されていると思う住民の割合



世代を超えた交流事業の数



地域まちづくり活動

活動 9 世代を超えた地域活動の継承と促進

【成果の視点】地域づくりの未来の担い手を育成するしくみづくりができてきていること

藤沢づくりのめざす方向性 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

〈① 協働型の課題解決で価値向上へ〉

ふじさわ未来課題

49.人々の環境への意識が高く、快適なまちであること

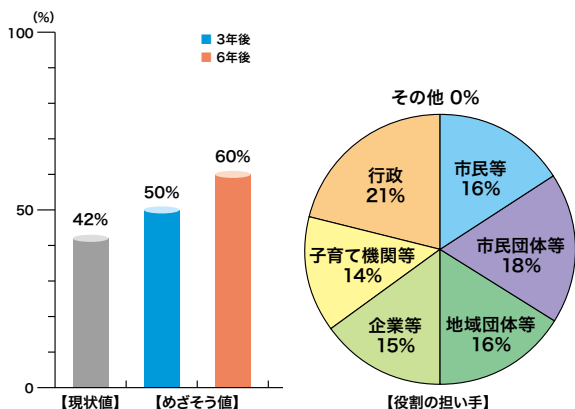
地域まちづくり目標 09.緑豊かな環境を守り育てるまち

目標の背景・方向性

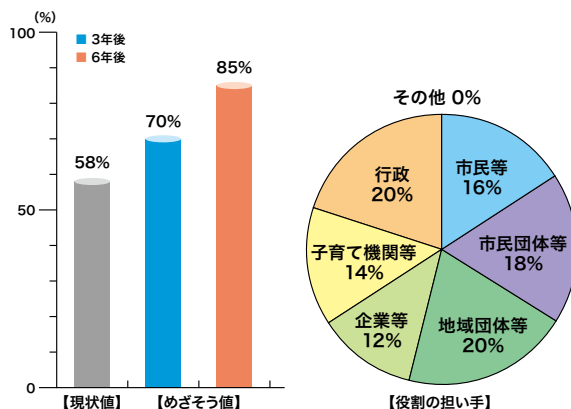
村岡地区には四季を通じて楽しめる新林公園や藤沢駅から歩いていける唯一の三大谷戸である川名清水谷戸、そして歴史ある二伝寺の竹林などその緑は地域住民に憩いや安らぎを提供してくれます。緑豊かな環境づくりのためには、公園や道路、河川、公共施設の緑の整備、そして住宅地内や工場・企業用地などの緑化推進に向け地域一丸となって取り組むことが大切です。地域住民の身近な緑への愛着と環境に対する意識の高揚を図り、緑のまちづくりを推進します。

成果指標

緑豊かなまちだと感じる住民の割合



地区内公園に対する公園愛護会の設置割合



地域まちづくり活動

活動 10 緑や花いっぱい活動の推進

【成果の視点】緑や花を育てることにより、暮らしやすい環境を守り育てること

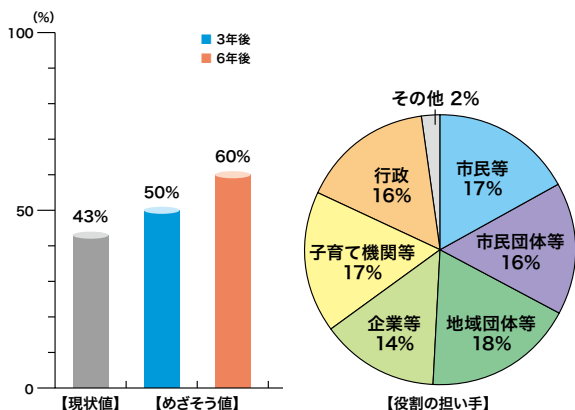
地域まちづくり目標 10.環境美化に対して活発な運動が実践できるまち

目標の背景・方向性

私たちは、「大量生産・大量消費」社会の中で、便利で快適な生活を送ってきました。その一方で、廃棄物の大量廃棄による最終処分場のひっ迫や、不法投棄、地球温暖化など、深刻な環境問題を引き起こしてきました。今日、企業においても地域貢献・社会貢献として環境美化活動に積極的に取り組んでいます。廃棄物を出さない持続可能な循環型社会の実現に向けて、「地域力」「企業力」による美化活動を推進し、美しく住みよい地域を築き、環境保全に対する意識の向上を図ります。

成果指標

きれいなまちだと感じる住民の割合



地域まちづくり活動

活動 11 環境美化活動の充実

【成果の視点】地域住民の美化運動への取り組みにより、環境にやさしいまちになること

都市ビジョン.3 さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性 7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

〈① 協働型の課題解決で価値向上へ〉

ふじさわ未来課題

57.すべての世代がのびのび・いきいきと活躍していること

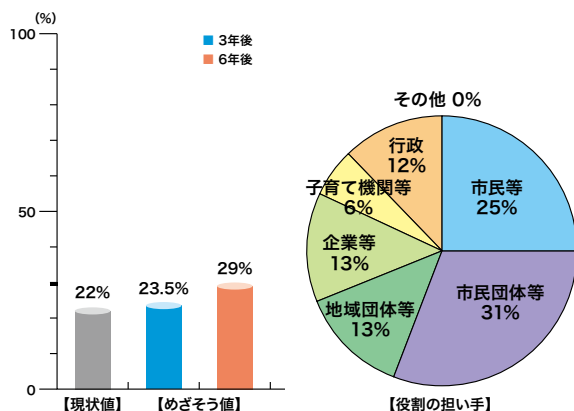
地域まちづくり目標 11.みんなが個性を活かし活躍できるまち

目標の背景・方向性

子どもからお年寄りまであらゆる世代にわたって、また地域住民から民間まであらゆる層が、個性豊かな活力あるまちづくりにかかわることは、地域を元気にする力になります。また、まちのなかで行われる積極的な声かけやあいさつは住民同士の信頼と協調を生み出します。地域全体が活力に溢れ、のびのび・いきいきとしたまちを創造するため地域団体の積極的な関わり合いと企業の地域貢献、地域社会活動を促し、新しい公共の役割を果たしながら、「地域力」「企業力」を全開し、協働した地域活動が活発に行われるまちをめざします。

成果指標

元気のあるまちだと感じる住民の割合



地域まちづくり活動

活動 12 誰もが参加でき、交流も図れる事業の推進

【成果の視点】地域住民が互いにふれあうとともに、地域企業との交流が活発になること

藤沢づくりのめざす方向性 8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

〈① 協働型の課題解決で価値向上へ〉

ふじさわ未来課題

71.多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること

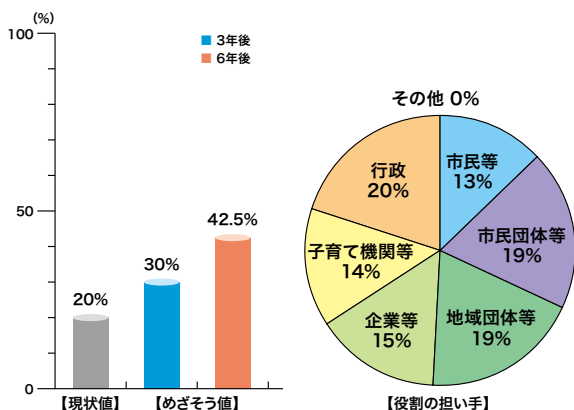
地域まちづくり目標 12.だれもが利用できる都市基盤の充実したまち

目標の背景・方向性

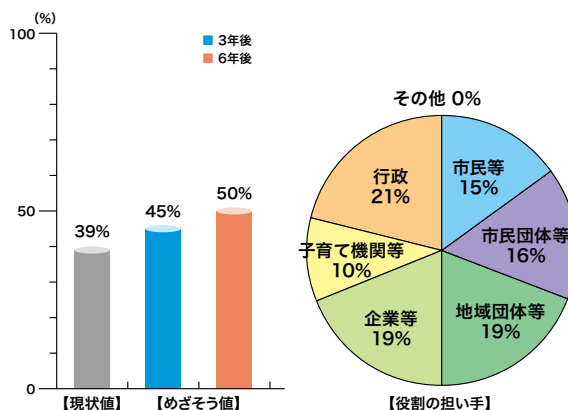
村岡地区の南部は工場や世界的レベルの研究所が立地し、製品出荷額は市内で3番目となっています。またJR東海道本線北側地域の大部分は区画整理事業などにより良好な住環境が形成されています。さらに現在、県・鎌倉市との広域連携により村岡新駅を中心としたまちづくり計画が進められています。一方、地域からは多世代が交流できる拠点の整備要望や交通ネットワークの整備など多岐にわたって様々なサービスが求められています。今後は「新しい公共」づくりを進め、地域資源を有効利用した民間施設とコミュニティー施設の連携や、新たな地域拠点施設の整備、また既存道路網を活用した公共交通や交通システム、交通ネットワークの整備など多様なサービスの充実を図ります。

成果指標

公民館など地域住民のコミュニティ活動の場の満足度



鉄道や幹線道路など交通に関する満足度



地域まちづくり活動

活動 13 多世代が交流、利用できるコミュニティーの活動拠点の充実

【成果の視点】地域内の公共施設が活発に利用されていること

活動 14 交通ネットワークの充実

【成果の視点】交通手段が充実していること

藤沢づくりのめざす方向性 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化、ブランド力などの地域の特性を活かした、魅力的な生活(「藤沢ライフスタイル」)や創造的な湘南の文化(「湘南カルチャー」)の創出をめざし、その魅力と価値を発信します。そして、市民一人ひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て、文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることがめざします。

① 協働型の課題解決で価値向上へ

ふじさわ未来課題

76.訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること

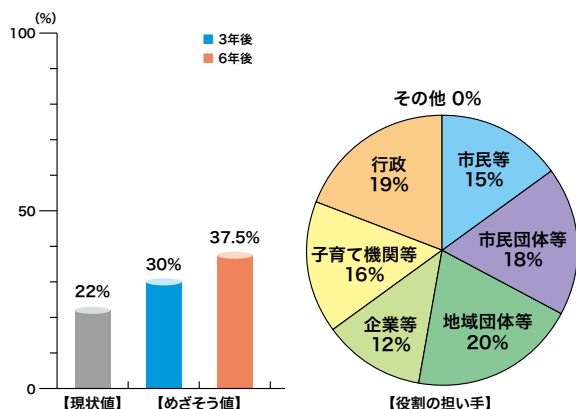
地域まちづくり目標 13.歴史と文化と自然に親しみ、活かすまち

目標の背景・方向性

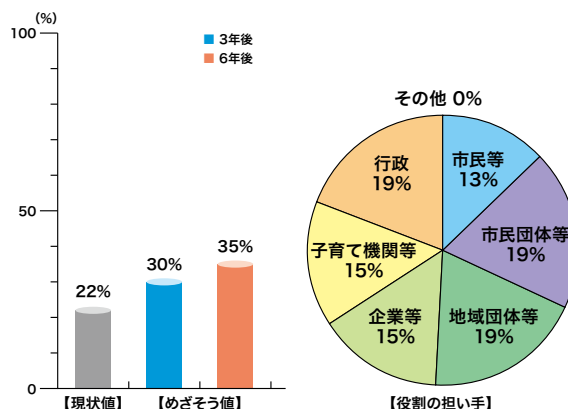
村岡地区には周辺地名の由来となった弥勒寺をはじめ、由緒ある神社・仏閣があり、郷土芸能などの文化も受け継がれています。毎年元旦には「村岡七福神めぐり」が行われ多くの市民が参加しています。また、くらし・まちづくり会議が作成した「むらおか歴史の道(名所・史跡ガイド)」は地域を巡るウォーキングマップとして喜ばれ活用されています。また、新林公園や里山の原風景を残す川名緑地、川名清水谷戸は四季の草花が訪れる人を迎えてくれます。こうした歴史的・自然的資源を大切にしながら、村岡を訪れる人や地域住民が地域に関心を持ち愛着を感じてもらえる魅力あるまちを創出していきます。

成果指標

歴史の保護・継承に関する満足度



文化遺産の保護・継承に関する満足度



地域まちづくり活動

活動 15 地域に残された歴史・自然資源の保存・継承・活用の推進

【成果の視点】地域で歴史、文化、自然などが保存され、次世代に引き継がれていること

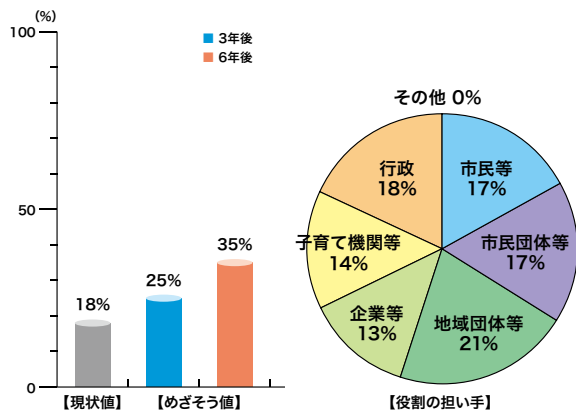
地域まちづくり目標 14.訪れる人を優しく迎えてくれるまち

目標の背景・方向性

住む人、働く人、訪れる人、誰もが安心して快適に過ごせ、行ってみたい、行って良かった、またこれからも住み続けたいと思えるようなまちづくりには、街並・景観・安全・環境・歴史文化などの整備と、ゆとり、やすらぎ、思いやりが感じられる細かい心配りが大切です。誰もが感じる居心地の良い環境は100センチの目線にたった視点で施策を検討することも必要です。また交通安全設備や道路環境の整備などのインフラ整備も不可欠です。「見えるところには目配りを、見えないところには気配りを」心掛けるまちづくりをめざします。

成果指標

訪れる人を優しく迎えてくれるまちだと感じる住民の割合



地域まちづくり活動

活動 16 通行に配慮した環境の整備

【成果の視点】誰もが安全・安心に目的地へ行けるように配慮されていること

